

## 論文審査の結果の要旨

報告番号	博(医歯薬)甲第 393 号	氏名	小野 大輔
学位審査委員	主 査	朝比奈 泉	
	副 査	原 宜興	
	副 査	渡辺 郁哉	
<p>論文審査の結果の要旨</p> <p>1. 研究目的の評価</p> <p>本研究は、骨増生の中でも最も困難とされている外側性の骨増生を想定し動物実験において、優れた機械的強度と骨伝導能を併せ持った新規 <math>\beta</math>-TCP の単独使用が臨床的に適用可能であるかどうかを検討するものであり、研究目的として妥当である。</p> <p>2. 研究手法に関する評価</p> <p>本研究では、新規 <math>\beta</math>-TCP の対照試料として、本邦にて頻用されている市販 <math>\beta</math>-TCP を選択し、両試料を任意の大きさのブロック状に成形したのち、SEM にて微細構造、X 線回析装置にて化学組成の分析を行っている。これらは両者の材料学的相違を探索する手法として妥当である。また両試料をウサギ下顎骨外側面上にオンレーグラフトし、その 6、12、24 週後、薄切標本を作製、光学顕微鏡にて組織形態学的・組織化学的な検索ならびに計測を行っている。実際の臨床を念頭に置き、このような動物実験において両試料の有用性を検討することは研究手段として妥当である。</p> <p>3. 解析・考察の評価</p> <p>新規 <math>\beta</math>-TCP は長期間に渡り、その形状を維持しつつ、骨近接部から順次骨への置換を示した。このことより、臨床的に困難である外側性の骨増生への有用性が示唆された。これらの研究結果と考察内容は高く評価でき、今後の臨床応用への進展が大いに期待される。</p> <p>以上のように、本論文は歯科医学に貢献するところ大であり、審査委員は全員一致で博士(歯学)の学位に値するものと判断した。</p>			